

## 平成 29 年度国指定谷津鳥獣保護区保全事業計画(予定)について

### 1. 生物等調査

#### (1) 底質性状調査(粒度組成、含水比、強熱減量、全硫化物)

・谷津干潟内 7 地点において 1 回調査 1 地点につき 1 試料(3 箇所から採泥し混合)

#### (2) 底生生物調査(種類、個体数、湿重量)

・谷津干潟内 7 地点において 1 回調査 1 地点につき 3 試料

### 2. アオサの分布・腐敗状況調査

#### (1) 硫化水素濃度連続観測

・遊歩道及び干潟内の 2 カ所において、硫化水素計を設置し測定する。

#### (2) アオサの堆積状況の撮影

・谷津干潟自然観察センターのライブカメラを活用し、干潮時間帯の画像を収集・分析する。

### 3. 複数のカルバート状況の想定に応じた谷津干潟内のシミュレーション(新規)

今後考えられるカルバートの状況を複数想定し、それに伴う谷津干潟への影響予測(流速の変化、地形の変化、干出面積の変化、干出時間の変化、生物等への影響等)を行う。

### 4. 貝殻有効活用による洗掘防止材の検討・施行(新規)

干潟内において K3 の干潟本体側は、流れが速いことでカルバート付近の掘削が進んでいる。そのため、貝殻をカゴに詰める等した洗掘防止材を検討し、その効果を検証する。効果の検証にあたっては、カルバートの改修工事の際にも活用できるかもあわせて検証する。

### 5. 地域の合意形成に関して

#### (1) 住民参加イベントの開催

- ・平成 28 年度に実施した魚類調査イベントを平成 29 年度も実施予定。
- ・予算に応じてホンビノスガイ駆除に関するイベントの実施を検討する。

#### (2) 報告会の開催

- ・谷津干潟の日イベント時(6 月)に開催を予定。平成 29 年度の開催時は、平成 29 年度の業務内容の他、三角干潟浚渫工事の説明を行う予定。

### 6. 普及啓発

#### (1) 保全事業 HP の運用・更新

#### (2) ウェブサイトを用いた住民参加モニタリングの運用

### 7. 三角干潟浚渫工事及び貝殻有効活用検討のための実証実験(新規)

三角干潟に堆積している土砂・貝殻等をポンプで浚渫し、土砂と貝殻を分離した後、貝殻は一部を除いて粉碎する。また、除去した堆積物を将来的に地盤高が低い箇所へ投入することを見据え、堆積物投入の影響評価を行う実証試験区を造成する。

#### (1) 三角干潟に堆積している土砂・貝殻等の浚渫工事(工事費)

#### (2) 貝殻有効活用検討のための実証実験地の造成(工事費)

#### (3) 工事施工後のモニタリングを実施